

④ ワークシートをもとに、観点について話し合う。(10分)

T「ワークシートを比べて、同じところや違うところを見つけましょう。」
T「意見と理由を發表しましょう。」

※全体での話し合いの焦点化がはかれるよう、ワークシートを比べて、意見と理由を明確にして話し合いができるようにする。また、問いかけやゆさぶりを働きかけることで、深まりのある話し合いができるようにする。

★観点や構成、資料の使われ方に着目して内容を的確に押さえ、自分の考えを的確にしながら読んでいる。(話し合い・ワークシート)

① 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。(5分)

T「今日のめあては、本論3の所を読んで、観点や資料について確認してみましょう。」

※単元の導入で確認した文章構成図から、本論3の観点や、観点到沿ってどのようなことが説明されているか、どのような資料が用いられ、どんな効果があるのかを読み取ることを確認する。

⑤ 資料の効果について話し合う。(10分)

T「本論3では写真を資料に使っています。
①写真を資料に使うことのよさは何ですか。また、②他に使うとしたらどのような資料が考えられますか。」
○予想される反応①
「写真を使うと見たことがなくても、その様子が分かる。」
○予想される反応②
「写真や絵だけではなく、実物を見せたり、実演してみたりしても分かりやすい。」

ま

【観点】

【資料】

本論3

め

和の文化を受けつぐー和菓子をさぐる
本論3にはどのようなことが説明されているのだろう。

② 本論3 (P149・12行目～P151・9行目)を音読する。(5分)

T「本論1や本論2の観点や説明の仕方と同じかどうか確認しながら読みましょう。」

※観点的書き方に若干の違いが見られるが、特に伝えたいことの表現の違いに着目させる。

③ 本論3の説明の内容の要点を箇条書きにして文章構成図にまとめる。(10分)

T「前時の学習を思い出して、本論3の観点や説明を箇条書きで書きましょう。」

※活動に進んで取り組めるように、ワークシートに書き込ませる学習は前時と同様の形のものを使用する。
※本論3の観点や説明を書き込めない児童には、重要だと思う文章にサイドラインを引かせる。

⑥ 学習を振り返り、本時の感想をノートにまとめる。(3分)

T「本時の学習を振り返って分かったことを書いておきましょう。」

○予想される反応
「本論3では和の文化はどのような人に支えられ、受けつがれてきたのかが分かった。」
「本論1や本論2と同じように始めは観点を述べて、その後の段落で詳しく書く構成になっている。」
「写真があることで見たことのない道具でもその様子が分かるから、写真はあった方がよい。」

※ 感想には分かったこと以外にも調べ方や予想を書かしておく。

⑦ 次時の学習について知る。(2分)

T「明日は、文全体の要旨をまとめ、どんなことを発表するのか見通しを立てよう。」

◇ワークシート① (1人学習用)

【観点】

【資料】